

世界初演 新制作「くるみ割り人形と秘密の花園」

—世界で活躍するアーティストが創る 新しい「くるみ割り人形」—

貞松・浜田バレエ団は、12月に新制作「くるみ割り人形と秘密の花園」（全2幕）を上演します。今回は、今注目を浴びている新進気鋭のアーティストが集結し、新しい「くるみ割り人形」を創りあげます。世界的な振付家で宝塚歌劇団にも振付をしている大石裕香氏、レディー・ガガの靴をデザインしたシューズデザイナー 串野真也氏など多彩なアーティストがアイデアを出し合いながら、一から作り上げる舞台。出演者もバレエダンサーだけにとどまらず、ソプラノ歌手の並河寿美氏、ストリートダンス×男子新体操のプロ集団 BLUE TOKYO のメンバーも登場し、見ごたえ十分の作品です。

写真・鈴木心



演出・振付：大石裕香
Yuka Oishi



舞台美術・衣裳デザイン：串野真也
Masaya Kushino



レディー・ガガが着用した
『Stairway to Heaven A』



ソプラノ歌手：並河寿美
(特別出演) Hisami Namikawa

貞松・浜田バレエ団が毎年12月に上演し、1989年から幅広い世代に愛されている演目「くるみ割り人形」。今回、その「くるみ割り人形」を、大石裕香氏が全く異なる世界観に創り上げ、新解釈「くるみ割り人形と秘密の花園」を世界初上演します。

様々な分野のアーティストとのコラボレーションで作品を創造することが重要だと考える大石氏は、舞台美術・衣裳デザインに世界的シューズデザイナー串野真也氏を起用。作品のキーパーソンとなるドロッセルマイヤーには、ソプラノ歌手の並河寿美氏を採用するなど、ゲスト出演者にも大石氏のこだわりが感じられます。今まで観たことも感じたこともない新解釈の「くるみ割り人形」を是非劇場で体験してください。

大石裕香氏のコメント

今回の「くるみ割り人形」は人間の感情を作品の最初から最後まで“繋ぐ”というイメージ。主人公マリーが自らの宿命や運命と向き合い、自分の脚でしっかりと未来に向かって歩いて行けるように作品の中で繋いでいきます。バレエのステップが言葉を発しながら皆でストーリーを紡ぐように、型やテクニックのみにとらわれず観客の皆様と生きた時間と空間を共にしたいという想いで制作しています。串野さんの繊細で大胆な舞台美術・衣裳デザインに、ドロッセルマイヤー並河さんの歌声、BLUE TOKYOのアクロバティックな技など、多彩なアーティストとバレエ団ダンサーとの共演を、劇場でお楽しみください。

貞松・浜田バレエ団 新制作「くるみ割り人形と秘密の花園」 (全2幕)

上演日時：2022年12月17日(土)、18日(日)

開演 15:00 (開場 14:15)

場 所：神戸文化ホール 中ホール (兵庫県神戸市)



公演情報：<http://sadamatsu-hamada.fem.jp/>

マスコミ関係者様のご招待席をご用意しております。詳細は下記お問合せ先までご連絡ください。

作品について

今回、新解釈「くるみ割り人形と秘密の花園」では、私たちが知る「くるみ割り人形」の物語と異なり、少女マリーは、幼いころに両親を亡くしたという設定。心を閉ざしていた少女マリーが、ドロッセルマイヤーと共に鮮やかな世界に飛び立ち、新たな一步を踏みだしていく成長の物語。

マリーを取り囲む登場人物の設定も従来のものからアレンジされています。今までに観たことのない「くるみ割り人形」の世界を、どうぞご期待ください。

リハーサルの様子
(貞松・浜田バレエ団)



アーティスト プロフィール

◇演出・振付：世界で活躍する振付家 大石 裕香

大阪府堺市出身。3歳でバレエを始め、大屋政子バレエ研究所にてバレエを学ぶ。

ジョン・ノイマイヤー率いるハンブルクバレエでダンサー・振付家として活躍。退団後、フリーの振付家となる。これまでにハンブルクバレエ団、ベジヤールバレエ団、東京バレエ団、Origen Festival Cultural、宝塚歌劇団、貞松・浜田バレエ団、MBS 音舞台、ジル・ロマン、セルゲイ・ポルーニン、ナターリア・オシポワ、中村祥子等に振付を提供。2023年にはサンフランシスコバレエ団、ベジヤールバレエ団への新作の発表が予定されている。

◇舞台美術・衣裳デザイン：世界的シューズデザイナー 串野真也

京都芸術デザイン専門学校を卒業後、イタリアに留学。“Istituto MARANGONI”ミラノ校、ファッションデザインマスターコースにてディプロマを取得。最先端技術や伝統技術などを駆使した、ファイナルデザインをテーマにした靴の作品や、科学技術を取り入れたアート作品などを世界に向けて発表している。現在は、バイオテクノロジーなど科学技術を取り入れたアート作品なども積極的に取り組んでいる。2016年、京都府文化賞奨励賞受賞。作品は、イギリスの国立博物館、ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館、NYのFashion Institute of Technology 美術館に永久保存されている。

◇特別出演：日本を代表するソプラノ歌手 並河寿美 (ドロッセルマイヤー)

兵庫県出身。大阪音楽大学音楽学部声楽科卒業、同専攻科、同大学院オペラ研究室修了。兵庫県立芸術文化センター佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ『蝶々夫人』で兵庫県芸術奨励賞、音楽クリティッククラブ賞を併せて受賞。平成24年度には神戸市文化奨励賞を受賞。びわ湖ホール・神奈川県民ホール共同制作『トゥーランドット』『アイダ』(沼尻竜典/指揮・栗國淳/演出)にタイトル・ロール。現在、大阪音楽大学准教授、愛知県立芸術大学非常勤講師。二期会会員。

※アーティストへの個別取材も受付けております。お問合せは、貞松・浜田バレエ団へお願いします。

●貞松・浜田バレエ団 概要

1965年3月結成。神戸を拠点とするバレエ団。

クラシック・バレエを基本に、古典作品と創作作品を活動の両輪に、公演を続けている。これまでの公演総回数は1,000回を超え、兵庫県文化賞、文化庁芸術祭大賞などを受賞。また、地域に根ざした小中高校の視聴覚教育の一環として、1967年よりはじめた学校巡回公演は、700回を超える。バレエ学園でのダンサー育成にも注力し、プリ・ド・ローザヌス受賞者など、優秀なダンサーを多数輩出する。2022年、団長の貞松融が舞踊芸術の向上発展に寄与した舞踊家に送られる「第70回舞踊芸術賞」を受賞した。

バレエ団の主な受賞：1980年兵庫県教職員組合文化賞 87年兵庫県文化賞。91年神戸市文化賞、月刊「神戸っ子」ブルーメール賞。98年大阪舞台芸術奨励賞。2002年神戸新聞平和賞・文化賞。05、11年文化庁芸術祭大賞。09、17、18、21年文化庁芸術祭優秀賞。

本件に関するお問い合わせ先

(一社) 貞松・浜田バレエ団 神戸市灘区畑原通 3-6-6

TEL : 078-861-2609 E-mail : production@shballet.or.jp (担当 : 菅野)

バレエ団 HP : <http://sadamatsu-hamada.fem.jp/index.html>